



【2018-06-06】

遊道楽歩（雑感）

書を友に、酒を楽しみ、  
人生を味わう

今週の雑感

『わんことはじめての温泉旅行』

長野修二

## わんことはじめての温泉旅行

---

わが家にマギー（ミニチュア・ダックス）がやってきてはやいもので7か月が過ぎました。

すでにわが家に乗っ取りあらゆるものを撃退したおかげで、わが家の壁や調度品は無残な姿をさらしています。

とはいえ、生後9か月を過ぎて少しおとなになってきたらしく、強烈ないたずらも影を潜め落ち着いてきたところでしょうか。

それでもたまにいたずら道具をみつけてきては、ひと騒動やらかします。

妻の怒鳴り声に一目散といったところですが、妻の面前で堂々としたずらをやらかすので妻としてはメンツ丸つぶれの様です。

そんななか箱根にある犬と泊まれるコンドミニアムの予約が取れたのでさっそく行くことにしました。

場所は箱根でも比較的人が少ない仙石原です。

美術館や秋には有名なススキの草原、あるいは仙石原湿原などゆったりと芸術や自然を楽しめるところといったところでしょうか。

ススキの草原もこの時期は写真のようになにもありませんし、人など見当たりませんが、人混みが嫌いな私のような人間でないと訪れない季節の様です。



コンドミニウムがあるところは、近くになにもない場所ですから歩いてなにかするといったことはできませんが、ドックランが併設されているので犬と遊ぶことができます。



食事はケイタリングか、自分で食材を購入してきて作ることができますが、一泊でしたからケイタリングを頼み、ビールやワインは近くで購入してきて夕飯を犬といっしょに楽しみました。

ケイタリングは金目鯛の煮つけでしたから、ぬる爛をして日本酒が飲めなかったことは残念無念といったところです。

箱根は、わが家からちょうど150kmほどの距離ですから、ドライブするにはほどよい距離でしょうか。

また、犬にとっても3時間弱の距離ですし、途中蛸名パーキングで休憩するので1時間半ほど車の中のゲージで休んでくれれば犬にとっても快適な旅となります。

箱根のコンドミニウムに到着しても部屋の中を自由に歩けるため、普段の生活スタイルと同じ感覚のようです。

ただし、寝室と和室に入れませんので、居間を中心に動きまわっていました。

なかなか慣れないかと思っていましたが、このわんちゃんは、私たちといっしょであればどこでも楽しんでくれるところもとてもかわいい存在です。

さすがに夜は、居間で一匹で寝ることになるため、不安で泣いてい

たようですが、私はどこでも熟睡できるタイプですので気が付きませんでした。妻がわんちゃんの夜泣きを聞いていたようです。また、外が明るくなるとしっかりと泣いて私たちを呼びますので、自宅で一匹で寝ているのとは勝手に違います。

この点は、次回の旅では少々工夫が必要かと、思案しています。

犬との旅は、子供たちが幼かったころ同様、どうしても犬を中心にいくところを検討することになります。

これまで行ったような見所や食事をするとところへいくことができませんので、犬と散歩ができるところ、あるいは犬といっしょに食事ができるところを探すことになります。

これも新たな旅のはじまりになるのでしょうか。

ネットで犬と散歩できる場所を探すとたいていは公園などができます。

箱根に公営公園などあるのかと思っていた私の想像はたちまち裏切られることになります。

箱根にもすばらしい公営の公園があるではありませんか。

元箱根に「[神奈川県立恩賜箱根公園](#)」がありました。

明治時代に皇族の避暑と外国の賓客をもてなすところとして造られた離宮の跡地だけあってすばらしい景観が楽しめます。





しかも無料（駐車場は有料）、犬はリードをつけていれば公園内の散歩が可能です。



またひとつわんこに新たなところを教えてもらうことになりました。  
わんちゃんとの生活は、人間だけの生活では見落としてしまいそう  
なところへ連れていってもらえるの魅力でしょうか。

ドライブしながら適当なところで散歩するしかないかと、思っていましたので大変感激しました。

さらに実際に公園を歩いてみれば、とてもきれいに整備されており、  
ゆっくり景色を眺めながら犬と散歩ができます。



あいにくこの日はガスがでていて富士山は見えませんでした。公

園内を散策するだけでも十分楽しめる環境です。

犬にとっても同様に散歩しやすいよい環境でしょうか。

適度にアップダウンがあり、2時間弱散策ができました。

昼食は強羅公園近くの犬と食事ができる普通のカフェのテラス席でとりましたが、こちらは犬が私たちといっしょに食事をする事ができるかどうかをみるためのテストの意味もありましたが、比較的落ち着いて食事をする事ができましたので、今後犬同席で食事できる場所があれば積極的にだかけてみようと、決心する事ができました。

仕事同様、なにごともトライアンドエラーの挑戦しかありません。しかも、はじめての旅にしては落ち着いて行動できることがわかり、これから先、犬同伴の旅や食事に期待がもてるというよい経験ができました。

帰宅してからも毎日元気に遊んでいますから、それなりの柔軟性もあるようですし、また違う温泉旅を探していくことになるでしょう。

よき相棒との旅は、これからが本番といったところでしょうか。

人生の楽しみは尽きません。